



# 令和元年度 果樹情報 第19号

(令和2年3月18日)

果樹類の発育予測

福島県農林水産部農業振興課



## 1 気象概況 (3月前半：果樹研究所)

3月の平均気温は1半旬が4.7℃で平年より1.1℃高く、2半旬が7.5℃で平年より4.0℃高く、3半旬が7.0℃で平年より2.3℃高く経過しました。  
この期間の降水量は31.0mmで平年の93%でした。

## 2 発芽状況 (果樹研究所 3月16日現在)

もも、なし、りんごの各樹種で発芽は、まだ確認されていません(表1)。  
なお、ももの発芽は近日中の見込みです。

表1 発芽状況

		発芽	
		本年	平年
あかつき	未発芽	3月25日	3月20日
ゆうぞら	未発芽	3月26日	3月20日
幸 水	未発芽	4月2日	3月25日
豊 水	未発芽	3月31日	3月22日
つがる	未発芽	3月26日	3月21日
ふじ	未発芽	3月28日	3月22日

注) 平年は1986～2015年の平均値。

## 3 発育予測 (果樹研究所における3月16日時点での予測)

今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、なし「幸水」の発芽は3月27日頃で平年より6日早く、りんご「ふじ」の発芽は3月19日頃で平年より9日早いと予測されます(表2)。

また、今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、もも「あかつき」の開花始めは4月6日頃で平年より8日早いと予測されます(表3)。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意してください。

表2 発芽予測日 [予測方法：発育速度(DVR)モデルによる発育予測]

		発芽日		今後の気温経過		
		昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
幸 水		3月25日	4月2日	3月29日	3月27日	4月1日
ふじ		3月22日	3月28日	3月20日	3月19日	3月22日

注) 発芽日の平年は1986～2015年の平均値。

表3 開花予測日 [予測方法：発育速度(DVR)モデルによる発育予測]

		開花始め		今後の気温経過		
		昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
あかつき		4月12日	4月14日	4月10日	4月6日	4月14日

注) 発芽日の平年は1986～2015年の平均値。

#### 4 栽培上の留意点

##### (1) 管理作業の計画的実施

この時期の管理は、せん定枝処理、誘引及び休眠期防除等が中心となる。発芽予測日と今後の気象予報等を考慮し、管理作業が遅れないように注意しましょう。

##### (2) ももの摘らい

摘らい作業は、3月上旬から発芽直前までが適期で、発芽期以降は摘らいの際に葉芽を傷めやすい上、花らいが離脱しにくくなり作業能率が極端に低下します。摘らい作業は時間を要するので計画的に実施しましょう。

なお、摘らい作業の省力化を目的として、高压動力噴霧機と摘らい用ノズルによる水圧摘らいを実施する場合は、果面障害の発生を最小限に抑えるため、発芽期前後または開花直前～開花期頃を実施しましょう（発芽後5～15日（開花前6～17日）頃は果面障害が発生しやすいので注意してください）。

（ももの水圧摘らいは、下記の技術資料を参照）

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/307173.pdf>

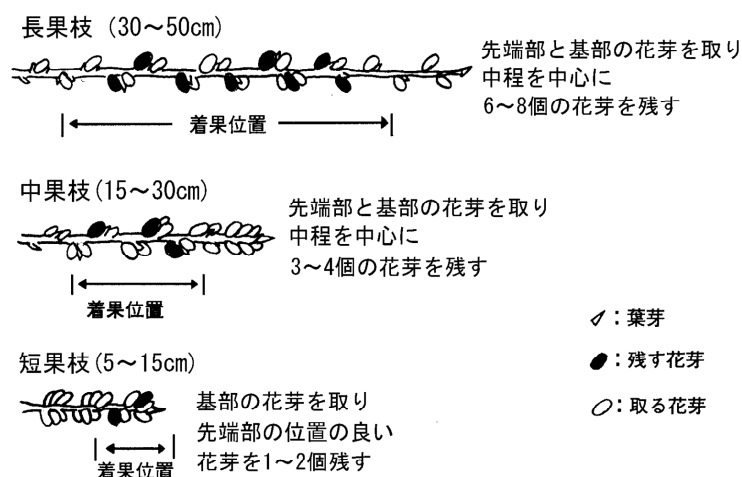


図 摘らいの方法

#### 5 病虫害防除上の留意点

発芽前の防除は、発芽状況を確認しながら、温暖無風の日を選んで遅れないように確実に実施しましょう。

##### (1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部は削り取るかせん除しましょう。

輪紋病の発生が多い園等で枝幹にいぼ病斑がみられる場合は、防除部を削り取りましょう。

うどんこ病によるボケ芽等はせん定時に除去し、第一次伝染源の密度低下を図りましょう。

ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い園では、休眠期の防除を実施しましょう。

##### (2) もも

縮葉病やハダニ類、カイガラムシ類等に対する発芽前の防除を実施しましょう。

また、コスカシバの発生が多い園では、縮葉病防除後から開花前までに防除薬剤を主幹部及び主枝に手散布で実施しましょう。

##### (3) なし

黒星病及びハダニ類に対しては、発芽10日前までに防除を実施しましょう。特に、前年にニセナシサビダニ等の越冬害虫が多発した園では石灰硫黄合剤 10倍を散布してください。

黒斑病の越冬伝染源（枝病斑、ボケ芽）は、せん定時に取り除きましょう。

(4) ぶどう

晩腐病防除のため、発芽前の防除を徹底するとともに、病原菌が越冬している可能性が高い巻きひげや前年の房の取り残し、結果母枝の枯死部は丁寧に除去しましょう。  
ハダニ類の発生がみられる園では、発芽前に防除を実施しましょう。

**病害虫の発生予察情報・防除情報**

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344  
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>